事後評価調書

I 事業概要			
事 業 名 農業農村塾		農業農村整備事業(水環境整備事業)	
地区名		阿知和池地区	
事業箇所		豊田市	
		豊田市の南西部に位置する阿知和池は、池南部の受益地へ用水の供給を行い、農産物の安定的な	
		生産向上を担うと共に地域住民の身近な水辺空間として親しまれてきた施設である。	
		しかし、ため池周辺には工場、住宅等が建設され混住化が著しく、ゴミ投棄・水辺環境の悪化により	
事	業のあ	維持管理に支障をきたしてきた。また、地域住民の環境意識が高まる中で、憩い、安らぎの場としての	
ķ	らまし	水辺空間の環境整備が強く求められていた。	
		このため、本地区では、保全管理上必要な整備に併せて、景観の保全、水辺の生態系の回復等の整	
		備を一体的に行い、豊かで潤いのある快適な地域の生活環境を創造することを目的として平成17年度	
		から水環境整備事業を実施し、平成20年度に完了した。	
		【達成(主要)目標】	
事業目標		ため池の適切な保全と安全を図り、同時に当池を広く住民に開放することにより、魅力ある農 	
		村住環境の向上を図る。	
		【副次目標】	
		なし	
事	業費	事業費 内訳 289百万円 ■工事費 260百万円、□用補費 百万円、■その他 29百万円	
車	 業期間		
尹	未捌旧	採択年度 平成17年度 着工年度 平成17年度 完成年度 平成20年度 親水・景観保全施設(多自然型護岸等)1式、利用保全施設(管理用道路等)1式	
事業内容		祝小・泉観休主心改(夕日然至設片寺)「ユ、利用休主心故(自垤用坦崎寺)「ユ 	
	1) 主要		
		D 達 ため池の維持保全面では、受益者(農家)のみでなく、自治区を中心とした地域のボランテ	
	成状		
		されている。	
		(草刈2回/月、清掃1回/月(トイレ1回/週)、巡回3回/月)	
		- こうした活動は、地域住民の協同により自主的に行われており、今回の整備が直接的に起	
1		因していると考えられる。 池周辺の環境整備を行ったことにより、朝晩、水辺散策やウォーキングに利用され、近接	
①事業目標の達成状		プログログス では、	
業日		することも国の航空コースとなっている寺、地域正氏の石動の場、周い、女うとの場となっしている。	
標			
の 達		の放流、ウォークラリーが行われました。	
成		その後も、地域交流を目的に自治区が中心となって、「阿知和池のつどい」が毎年開催され、	
沢		踊りや太鼓、フリーマーケット等、多彩なイベントが行われている。	
., .		(平成 25 年参加人数:約 350 名)	
		【達成状況に対する評価】	
		本事業により、管理と保全を含めた環境整備がなされたことで、農業用ため池として適切	
		な保全・管理が図られた。また、地域住民の憩いの場として活用されるようになり、農業用	
		ため池という施設の必要性及び重要性への認識が深めることができ、様々な地域活動を通し	
		て、地域コミュニティーが活性化された。	

2) 副次目 標の達 成状況	該当なし。	
Ⅲ 対応方針	対応方針	
今後の事後評	主要目標が計画通り達成しているため、今後の事後評価は不要である。	
価の必要性		
改善措置の必	主要目標が計画通り達成しているため、改善措置は不要である。	
要性		
同種事業に反 映すべき事項	今後ともよりよい整備を行うためには、地域住民との意見交換を通じて、地域の体制や特性を反映し、地域の状況に即した整備が必要である。	